

平成 21 年 度 事 業 報 告 書

本財団の目的を達成するため、次に掲げる事業を行った。

1 理事会等開催状況

会 議 名	開 催 日	内 容
平成 21 年度 第 1 回 通常理事会	平成 21 年 6 月 1 日 ホテルニューオータニ博多	・平成 20 年度事業報告 ・平成 20 年度収支決算 ・福岡県自動車産業活性化人材養成等 事業運営資金借入りに係る担保提供 ・理事長の選任
平成 21 年度 第 1 回 臨時評議員会	平成 21 年 6 月 16 日 書面による評議員会	・平成 20 年度事業報告 ・平成 20 年度収支決算 ・福岡県自動車産業活性化人材養成等 事業運営資金借入りに係る担保提供
平成 21 年度 第 2 回 臨時評議員会	平成 22 年 3 月 10 日 書面による評議員会	・理事、監事の選任
平成 21 年度 第 1 回 通常評議員会	平成 22 年 3 月 24 日 ホテルニューオータニ博多	・平成 22 年度事業計画 ・平成 22 年度収支予算 ・理事、監事の選任
平成 21 年度 第 2 回 通常理事会	平成 22 年 3 月 30 日 ホテルニューオータニ博多	・平成 22 年度事業計画 ・平成 22 年度収支予算 ・評議員の選任 ・理事長、副理事長の互選

※書面による評議員会の開催日は、決議書提出締切日。

2 事業の概要

(1) 学術研究に関する広報活動事業

①企業セミナーの開催

i 「九州大学学術研究都市セミナーIN 東京」

- ・テーマ：「～すべて魅せます、九州大学の魅力～『九州大学・総力セミナー Part2』」
- ・開催日時：平成21年9月1日 13:30～17:30
- ・開催場所：品川プリンスホテル
- ・参加者数：200名

ii 「第5回九州大学学術研究都市情報交流セミナー」

- ・テーマ：「九州大学学術研究都市情報」
「未来の自動車社会」
- ・開催日時：平成21年10月1日 14:00～19:00
- ・開催場所：ホテルオークラ福岡
- ・参加者数：281名
- ・トピックス：九州大学学術研究都市推進機構創立5周年記念祝賀会を同時開催

iii 「その他出展活動」

- ・第4回新エネルギー世界展示会 (6/24～26、幕張メッセ)
- ・モノづくりフェア2009 (10/15～17、マリンメッセ福岡)
- ・水素エネルギー先端技術展2009 (10/21～23、西日本総合展示場)
- ・産学官ビジネスフェア2009 (11/25～27、東京ビッグサイト)
- ・nano tech 2010 (2/17～19、東京ビッグサイト)
- ・FC EXPO 2010 (3/3～5、東京ビッグサイト)

②東京会議の開催と国省庁への要望活動

i 「九州大学学術研究都市構想促進東京会議」を開催し、首都圏のオピニオンリーダーと九州大学学術研究都市に関する意見交換を行った。

- ・開催日時：平成22年1月14日
- ・開催場所：ザ・プリンスさくらタワー東京
- ・参加人員：19名（東京会議委員11名、地元代表者8名）
- ・内容：「九州大学の現状と将来構想」「九州大学学術研究都市推進機構の活動状況」について説明した後、質疑応答を行った。総会終了後、交流会を開催し、さらに議論を深めた。

ii 国省庁等への要望活動

平成21年7月10日、国の機関（文部科学省、国土交通省、経済産業省の17課）を訪問し、学術研究都市づくりに対する協力要請を行った。

③九州大学学術研究都市構想及び九州大学有力シーズの海外向けPR

在日企業や海外に向けた情報提供の一貫として、英文パンフレット及び当機構の業務案内パンフレットの英文版を活用したPRを行った。

④九州大学研究シーズの情報発信

研究シーズへのアプローチを容易にした企業ニーズ解決システムの内容を改善・充実するために、システムの精度向上に向けた見直し作業を行った。

⑤その他の広報活動

i プラズマディスプレイの活用

J R 九大学研都市駅に、情報発信拠点としてモニターテレビを設置し、九大学研都市の情報や九州大学の情報など、様々なコンテンツ情報を発信した。

ii ホームページの更新

当機構の活動についてタイムリーな情報発信を行うため、ホームページをリニューアルした。

iii 機構ニュース「OPACKめーる」の発行

当機構の業務や学術研究都市に関する情報提供のため、機構ニュース「OPACKめーる」を定期的（年4回）に発行した。

・発行時期：年4回（7月、10月、1月、4月）

・発行部数：各号2500部

iv 九州大学学術研究都市DVDの刷新

キャンパス移転や研究所立地の進展など、九州大学学術研究都市を取り巻く環境の変化を踏まえ、平成18年度に作成したプロモーションDVDを刷新した。

(2) 産学官の共同研究による研究開発支援事業

①分析クラスター形成推進事業

新物質・新技術の研究開発や研究成果の実用化のために必要な「計測・分析」の機能に対する企業・研究機関等の重要増大に着目して、九州大学学術研究都市における分析クラスター形成への取組みを推進した。

②九州大学学術研究都市未来化学フォーラム

九州大学学術研究都市への立地促進にあたり、九州大学未来化学創造センターや、工学研究院応用化学部門が自ら設立した「光と水の伊都未来都市構想」と共同で事業を行うなど緊密な連携を図った。

i 「光と水の伊都未来都市構想」との連携

ii 研究会の開催支援

iii 「nano tech 2010」出展

iv 九州先端科学技術研究所（ISIT）との連携

③福岡経済情報基盤協議会の研究活動支援

九州大学発のID管理システム(MIID)を中心とした共通プラットフォームモデルの構築を目指して平成19年度に発足した「福岡経済情報基盤協議会」の運営メンバーとして参画し、活動を支援した。

④研究者の産学連携・研究活動支援

九州大学学術研究都市の形成に有望な研究を行っている九州大学の研究者・グループへの支援活動を行った。

⑤超高压電子顕微鏡フォーラムの運用（特別会計）

九州大学超高压電子顕微鏡室と連携して、九州大学保有の電子顕微鏡の民間企業への開放を行い、産学官交流・連携を促進した。（会員企業数：8社）

また、電子顕微鏡によるナノ構造評価の成否のカギを握る試料作製法の現状について、研究会を開催した。

「超高压電子顕微鏡フォーラム研究・技術懇談会」

- ・開催日時：平成22年3月12日 13:00～17:30
- ・開催場所：九州大学稲盛財団記念館 稲盛ホール
- ・参加人数：60名

（3）研究機関等の立地支援事業

①企業向け現地説明会の開催

企業・研究所の新設及び移転の候補地としていただくため、各立地用地の開発状況や産学連携施設、九州大学伊都キャンパスの先端研究施設及び周辺の魅力的な環境などの視察を目的とした現地説明会を実施した。

i 現地説明会（定例）

- ・開催日時：平成21年11月18日～19日
- ・参加人数：11名

ii 福岡商工会議所理財部会 現地視察

- ・開催日時：平成21年11月9日
- ・参加人数：44名

その他、個別企業の現地視察を別途実施した。

②企業誘致活動等

「水素・燃料電池」「応用科学」「材料」「計測・分析」を重点技術分野と位置づけ、シンクタンク系機関を活用し、企業情報の分析、誘致戦略の提案を受けることで、重点企業を対象とする効果的な誘致活動を実施した。平成21年度は、既訪問企業への再訪問の他、新たに「水素・燃料電池」11社、「応用化学」12社、「材料」6社、「計測・分析」5社の34社を加えて訪問した。

※初年度（平成16年10月）からの累積では、約550社（延べ数）

③研究サポート企業等の誘致

九州大学の研究をサポートする理化学機器関連企業への誘致活動を行った。また、研究サポート企業等誘致の実績を上げている先進組織を視察した。

④都市形成調査

九州大学学術研究都市構想の実現・企業立地の促進に求められる「知・住・悠の舞台となる快適空間の形成」に向けて、その具体化に必要な調査・検討を行った。

- i 九州大学学術研究都市構想の推進に関する事業方針の作成
- ii タウン・オン・キャンパスまちづくり推進会議の開催（4回／年）
- iii 九州大学学術研究都市における外国人の住・生活環境整備に関する調査
- iv 九州大学学術研究都市の核となる機能整備に関する基礎調査

(4) 産学連携交流支援事業

①OPACK交流会の開催

九州大学の研究者一人ひとりと地場企業との直接的コミュニケーションの場を提供するため、交流会を開催した。

- i 第7回「伊都アグリファーム（Qファーム）」
 - ・開催日時：平成21年4月23日
 - ・参加人数：14名
- ii 第8回「最先端の制御技術はこれだ！」
 - ・開催日時：平成21年6月26日
 - ・参加人数：8名
- iii 第9回「ソフトウェアの安全・安心」
 - ・開催日時：平成21年7月28日
 - ・参加人数：16名
- iv 第10回「農業の情報化と安全・安心」
 - ・開催日時：平成21年12月16日
 - ・参加人数：19名
- v 第11回「風を集めるレンズ」
 - ・開催日時：平成22年1月12日
 - ・参加人数：23名

②産学連携交流センターとの交流事業

「福岡市産学連携センター」におけるナノ・バイオなどの研究の中核的役割を担うための様々な取り組みに協力しながら、同センターの九州大学の研究者や入居企業との交流を深めた。

- i 研究会等のセンター開催等への協力
 - ・有機デバイス研究会（7/3）
 - ・「光と水の伊都未来都市構想」総会・研究発表会（12/15）
 - ・分析化学会九州支部の分析講習会開催（平成22年度）の協議等
- ii 入居者交流会の開催（3/5）
 - ・研究成果発表（3件）、展示パネルを活用したフリーディスカッション等

③学研都市内情報交流の場づくり

最近、学研都市内で増加しつつある研究機関同士の連携を図るため、当面、町内会的な緩やかな情報交流の場（「九大学研都市産学官連携推進会議・仮称」）の設立に向け、準備に着手した。

④ベンチャー企業等の支援・育成

地元ベンチャー企業の技術を活用したプロジェクトの支援を行った。また、インキュベート施設として実績を上げている先進組織を視察した。

(5) 企業立地促進補助事業

①企業誘致コーディネーター等企業誘致活動

当機構がこれまで取り組んできた企業誘致活動やセミナーを通じ蓄積された企業情報や経験を基に、シンクタンク系機関のノウハウを活用した戦略性の高い誘致活動について、経済産業省の地域企業立地促進等事業費補助金の採択を受け、実施した。

②福岡県自動車産業活性化人材養成等事業（特別会計）

福岡県における自動車産業の頭脳拠点化に向けた取組みの一環として、自動車メーカーや一次サプライヤー等の設計開発部門で必要とされる人材の育成事業について、経済産業省の地域企業立地促進等事業費補助金の採択を受け、実施した。

i 第1回中核人材育成コース「自動車部品設計セミナー6日間コース」

- ・対象：大学生
- ・開催日時：平成21年8月6日～12日
- ・参加人数：20名

ii 即戦力人材育成コース「自動車部品設計即戦力セミナー35日間コース」

- ・対象：スキルアップを目指す技術経験者等
- ・開催日時：平成21年10月9日～11月20日
- ・参加人数：20名
- ・その他：研修修了後、フォローアップを実施（3回）

iii 第2回中核人材育成コース「自動車部品設計セミナー8日間コース」

- ・対象：大学生
- ・開催日時：平成22年2月22日～3月2日
- ・参加人数：10名

上記の研修については、3次元CAD「CATIA V5」の基本操作から現場技術までの習得をはじめ、パソコン上のバーチャルな設計に終始せず、エンジン実物の解体・組付けを行って、現地現物の大切さを体感する等の実践的な内容に、受講者の満足度が高く、好評であった。なお、即戦力人材育成コース受講生のうち自動車関連企業への就職が決まった者も出ている。